

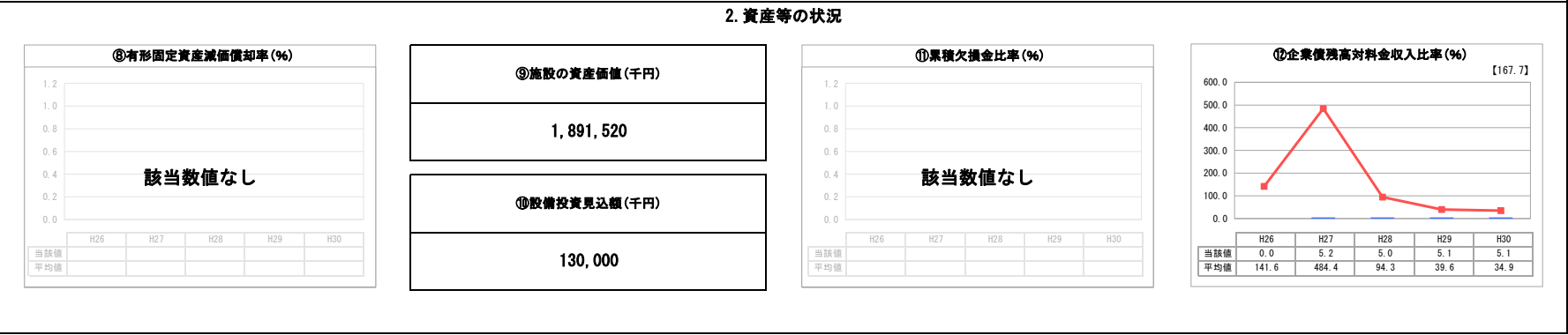
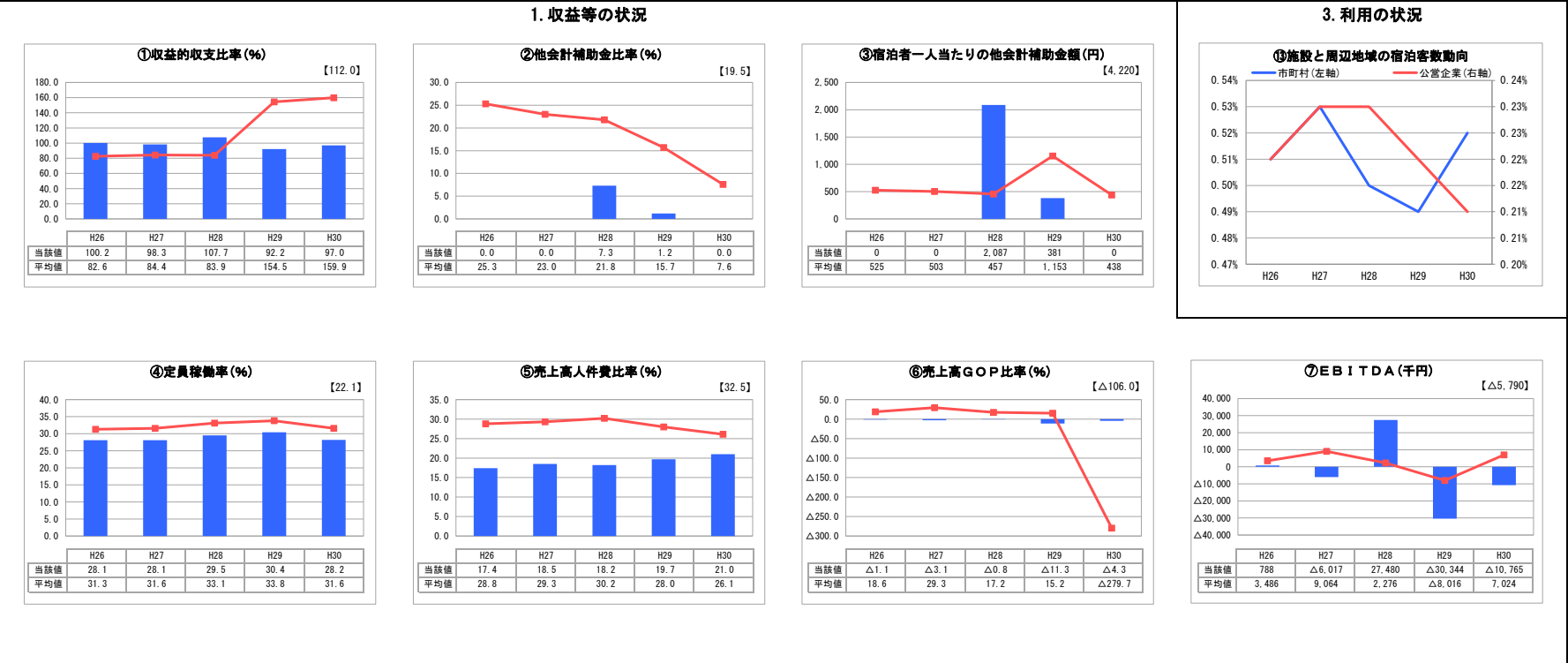
経営比較分析表（平成30年度決算）

岡山県和気町 和気輪銅谷温泉

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	6,488	115	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
8,166	導入なし	31.2
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
収益等の状況が昨年度よりやや減少しているのは、利用数が横ばいであるがビジネス（素泊まり）等の利用形態増による客単価の低下と、職員の定期昇給により人件費が増加したためと考えられる。厳しい経営状況であることには変わりはないが、サービスの低下にならないよう、収支のバランスを追求し健全運営を目指す。

2. 資産等の状況について
築24年が経過し、修繕に関する支出が増加している。お客様の利用形態は時代により急激に変化していることから、施設の大規模改修の検討をしているが、莫大な費用がかかるため補助金等を有効活用し、利用者により良い環境を提供できるよう努めたい。

3. 利用の状況について
利用者数は近年横ばいである。客単価が減少していることから、アメニティーの充実を図り、更にお客様のニーズにあった商品の提供を推進していく。

全体総括
消費税増税に伴い仕入れコストの増額等が見込まれる中、最低資金の改定、お客様に対する一人当たりのコスト増からも、年々厳しい経営状態は避けられないため、次年度から宿泊・温泉等の利用率を見直し、更なる経営改善を図り成果を上げる。